

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：特定疾患対策費

事業名 指定難病等医療費助成事務外部委託費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 保健医療課 難病対策係 電話番号：058-272-1111(内3321)

E-mail : c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 36,630 千円 (前年度予算額： 45,278 千円)

＜財源内訳＞

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	45,278	0	0	0	0	0	0	0	45,278
要求額	36,630	0	0	0	0	0	0	0	36,630
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

指定難病医療費助成事務の業務量については、対象疾患の拡大や申請者数の増加等により今後も増加していくことが見込まれている。

令和元年6月から外部委託を導入することで、一連の事務処理を安定的に遂行できる体制を確保しているが、今後も継続して外部委託を行うことで、安定的に遂行できる業務処理体制を維持する。

(2) 事業内容

- ・ 指定難病及び小児慢性特定疾患の医療費助成事務を外部委託
- ・ 期間：令和7年1月～令和9年12月

○外部委託する業務

ア 保健医療課担当業務

- ・ 保健所から進達された申請書類等のチェック、担当委員による事前審査の準備、受給者証及び不認定通知書の作成・発送 など

イ 保健所担当業務

- ・ 受給者証の発送、受給者への更新案内の発送

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	36,630	外部委託費
合計	36,630	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

28都府県が指定難病医療費助成事務に外部委託を導入。他県市においても検討が進んでいる。

(2) 後年度の財政負担

令和8年度 36,630.0千円 (R7.4月～R9.3月)

令和9年度 27,472.5千円 (R9.4月～R9.12月)

事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

業務量の増加が見込まれている指定難病医療費助成事務について、今後も安定的に遂行できる業務処理体制を確保する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

業務量の増加が見込まれている指定難病医療費助成事務について、今後も安定的に遂行できるよう、外部委託を導入するものであり、客観的な成果指標の設定が困難であるため。

(これまでの取組内容と成果)

令 和 4 年 度	指定難病医療費助成事務を外部委託し、保健医療課及び保健所職員の負担軽減になった。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令 和 5 年 度	指定難病医療費助成事務を外部委託し、保健医療課及び保健所職員の負担軽減になった。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令 和 6 年 度	指定難病医療費助成事務を外部委託し、保健医療課及び保健所職員の負担軽減になった。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	年々受給者数が増加しており、事務量は増大している。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	(評価) 3
保健医療課及び保健所職員の負担軽減になっている。	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	(評価) 2
マニュアルの作成、定期的な打ち合わせにより効率化を図っている。	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

年々受給者数が増加しており、事務量は増大している。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

業務量の増加が見込まれている指定難病医療費助成事務について、今後も安定的に遂行できる業務処理体制を確保する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	